



# 12 季節移動する鳥類 渡り鳥の飛来地：干潟の重要性

飛翔によって長距離を移動できる鳥類の多くは、越冬や繁殖のための渡りをします。南北に長く、温暖な琉球列島の島々は、多くの鳥類の渡りの中継地や越冬地であるため、一年を通すと、400 種以上もの鳥類が記録されています。

1. 鳥類の移動について、以下の問に答えよう。

1) 下図はサシバが繁殖を終えたあと、いくつかの地点で休息をとりながら渡るルートを矢印で示したものです。図中の休息地点①、②の地名を記入しよう。

① ( )

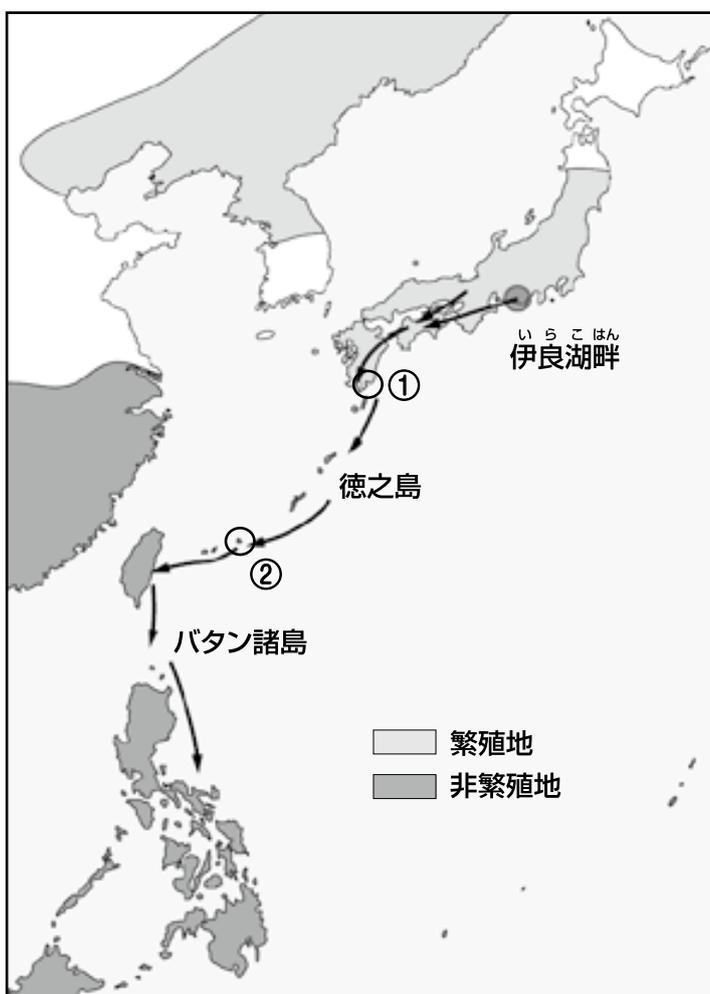
② ( )

2) 渡り鳥は複数の国をまたいで渡るため、一つの国がいくら保護しても、ほかの国の環境条件が悪ければ絶滅する可能性があります。そこで、多くの鳥が渡りの中継地や越冬地として集まる干潟を保全するために制定された条約名を記入しよう。

( ) 条約

3) サシバは、沖縄では「旅鳥」ですが、多くの水鳥は沖縄の干潟などで越冬します。このような鳥は、生息区分では何鳥と呼ぶか記入しよう。

( )



参考：沖縄県内のラムサール条約登録地 (2009 年現在)  
 漫湖干潟 (那覇市)  
 名蔵アンパル干潟 (石垣市)  
 慶良間諸島海域 (渡嘉敷村・座間味村)  
 久米島の溪流・干潟 (久米島町)